

会議名	第1回協働によるまちづくりに関する意見交換会 地域の安心・安全～防災、防犯～
開催日時	平成31年1月15日(火) 午前18時30分～20時30分
会場	中央公民館 第1ホール
出席者	31名
講師 (ファシリテーター)	合同会社 Active Learners 共同代表 山ノ内 凜太郎 ・ 米元 洋次
概要	<p>1. 開会</p> <p>2. アイスブレイク</p> <p>3. 情報共有「協働によるまちづくり条例にかける想い」</p> <p>4. グループワーク</p> <p>①すでに取り組んでいることを出し切る（やっていること）</p> <p>②今後、もっと必要になることを考える（課題）</p> <p>③いくつかの課題に対して、どんなことができるかを考える</p> <p>5. 閉会</p>
グループワークで 出た意見 アンケート結果	<p><グループワーク①、②で出た意見></p> <p>別紙1参照</p> <p><グループワーク③で出た意見></p> <p>別紙2参照</p> <p><アンケート結果(抜粋)></p> <p><u>Q1：今回の意見交換会に参加してどう思いましたか？</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な方の意見を聞くことができ、今後の活動の参考となった ・様々な立場にある人と意見交換することができ、多種多様な課題と向き合うことができた ・普段お会いする機会がない方々との意見交換ができ、有意義な時間だった ・考え始めると、色々な課題が見えてくるものだと思った ・自分のことでやっとですが、できることを見つけて参加したいと思った ・民生委員の方の苦労が分かった ・自治会長や民生委員など、実際に活動されている方の意見が聞いて参考になった ・多くの提案、困りごと、今後の対応等を聞いてよかった <p><u>Q2：あなたが感じた課題は何ですか？</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし（特に高齢者）の方についての課題 ・少子高齢化が進む中で、地域で何ができるか。自治会の役員と住民の皆さんと協

力することの必要性を感じている。

- 少子高齢化による地域防災力の低下
- 絆づくりが大切
- コミュニケーションが希薄になっていること
- 自治会への加入率
- 自治会員の自治会脱退。また、転入してきた方も自治会に入らない現状
- 少子高齢化に関する点がすべてに共通していると感じた
- 福祉、まちづくり、人口（若者）を増やすための方策
- 課題解決につないでいくことができるサービスを作ること
- 高齢者（男性）の居場所づくりといきがづくり
- 住民が何を求めているかを知ること
- こどもが少ないこと、空き家が多いこと
- 外国人への対応、災害時への対応、自治会の負担

Q3：課題の解決に向けて何が必要だと思いますか？

- 協働の力
- 若者が定着できるまちづくり、こどもの元気な声が聞こえる地域づくり、多世代交流、高齢者や小さいこどもにやさしいまちづくり（学校や保育所は大切な地域の拠点）
- 若い人が集まる場に、知恵を出す
- 笑顔、あいさつ、元気、コミュニケーション
- 地域ボランティアの必要性
- 市民が広く参加できる場づくり（イベントの企画）
- コミュニケーションの大切さを感じた
- 狭山市のまちづくりを住民とどのように構築していくか
- ほどよいおせっかい
- 若い人も気軽に参加できるイベントや特典
- 民間のノウハウ、指導
- 健康寿命の向上
- 自治会長、副会長との連携で入会のPRをしていきたい
- “協働”のまちづくりを進めること
- 自由に表現できる環境を作ること、思いがけないことが出てくる可能性と楽しみがあると思う
- 社会的起業により、新たなサービスをつくること
- 行政及び自治会等の協力

- 色々な団体との横のつながりが大切
- 情熱、やる気
- リーダー的な人の出現
- 市民の行政でもっと意見交換が必要
- 自分の問題として考えること
- 住民の理解と関心を高めること
- 「自助」をどのように広めるか

Q4：課題の解決に向けてあなたは何ができると思いますか？

- 今の自分にどこまでできるかわからない
- 地域での見守り（こども・高齢者・若い親達）を一続き頑張り、顔の見える関係づくりを進めていきたい、ガーデンいきいきサロンを充実させたい
- 地域のみなさんとのコミュニケーションづくり
- 小さなことから協力をしていく
- 世代間の交流を増やすこと
- 意見交換会のような機会を積極的に行う
- 見守り挨拶を兼ねて自治会の大切さを伝える
- 課題の特定ができれば個人として「やれる」ことが理解できる
- 行政への提案
- 市への協力
- できるだけ多くの問題に向き合っていきたい
- とりあえずできることからいろいろ顔を出してみたいと思う
- もっと考えること
- 近所と話しをする